

2011年度 第3四半期決算

2012年1月26日

富士電機株式会社

2011年度第3四半期業績

2011年度第3四半期累計(4-12月)連結業績概要(対前年)

(単位:億円)

	2010年度 Q3累計	2011年度 Q3累計	増減
売上高	4,565	4,606	41
営業損益	-93	-51	42
経常損益	-163	-89	74
特別損益	238	-56	-294
法人税等	53	-92	-145
少数株主損益	1	7	6
四半期純損益	20	-60	-80

平均為替レート US\$	¥86.85	¥79.01	-¥7.84
平均為替レート EURO	¥113.31	¥110.64	-¥2.67

営業損益増減

コストダウン	+119	価格ダウン	-80
固定費減	+68	為替影響	-28
物量増・他	+9	素材高騰他	-42
		震災影響	-4
	+196		-154

営業外損益増減

為替差損益	+29 (-46→-17)
金融収支	+2 (-16→-14)
持分法投資損益	-2 (-11→-13)

特別損益増減

投資有価証券売却益	-307 (+307→+1)
投資有価証券評価損	+21 (-26→-5)
資産除去債務適用影響	+23 (-23→0)
生産拠点等統合費用	-26 (0→-26)

(単位:億円)

	売上高			営業損益		
	2010年度 Q3累計	2011年度 Q3累計	増減	2010年度 Q3累計	2011年度 Q3累計	増減
エネルギー	278	342	64	24	39	16
産業システム	501	507	7	-20	-4	16
社会システム	789	813	23	-43	-38	5
パワーエレ機器	610	626	16	4	-27	-31

➤ **エネルギー**

発電プラント分野における新設プロジェクトの売上計上、および原子力・放射線分野における放射線量計の需要増等により、売上高、営業損益ともに前年同期を上回る。

➤ **産業システム**

売上高は、大口案件の増加により前年同期を上回り、営業損益は、増収効果、原価低減および経費圧縮により前年同期を上回る。

➤ **社会システム**

売上高は、変電分野での設備投資増、コンビニエンスストア向け改装物件の増加により前年同期を上回り、営業損益は増収効果、原価低減および経費圧縮により前年同期を上回る。

➤ **パワーエレ機器**

ドライブ分野の売上高は、アジア・中国向け需要増により前年同期を上回るが、第3四半期以降、海外市場の減速感が強まる。営業損益は、為替の円高進行および中国における生産調整等の影響により前年同期を下回る。パワーサプライ分野においては、データセンター向け無停電電源装置の需要増やアジア向け輸出の増加により、売上高、営業損益ともに前年同期を上回る。

(単位:億円)

	売上高			営業損益		
	2010年度 Q3累計	2011年度 Q3累計	増減	2010年度 Q3累計	2011年度 Q3累計	増減
電子デバイス	928	839	-89	-32	-6	26
内、ディスク媒体	303	201	-102	-49	-12	37
器具	480	512	32	20	25	5
自販機	604	591	-13	-19	-7	13
その他	784	762	-22	-1	6	7
消去または全社	-407	-385	22	-25	-40	-15
合計(①+②)	4,565	4,606	41	-93	-51	42

▶ 電子デバイス

【パワー半導体】売上高は、産業分野および自動車分野の需要増により前年同期を上回るが、第3四半期以降は産業分野の市場の減速感が強まる。

営業損益は為替の円高進行および先行投資に伴う固定費増により前年同期を下回る。

【ディスク媒体】売上高は、パソコン市場の減速およびタイ洪水影響による需要減により前年同期を下回る。

営業損益は事業構造改革による原価低減および固定費の削減により、前年同期を上回る。

▶ 器具

アジア・中国向けの需要増等を背景に、売上高、営業損益とも前年同期を上回る。

▶ 自販機

売上高は、省エネ環境対応型自販機の需要増はあったものの、市場価格の低下により前年同期を下回る。

営業損益は、事業構造改革による原価低減および固定費削減により前年同期を上回る。

2011年度第3四半期(10-12月)連結業績概要(対前年)

(単位:億円)

	2010年度 Q3	2011年度 Q3	増減
売上高	1,590	1,552	-38
営業損益	17	5	-13
経常損益	4	9	5
特別損益	-1	-9	-7
法人税等	-4	5	9
少数株主損益	3	1	-2
四半期純損益	4	-6	-9

平均為替レート US\$	¥ 82.64	¥ 77.41	-¥ 5.23
平均為替レート EURO	¥ 112.23	¥ 104.33	-¥ 7.90

営業損益増減

コストダウン	+39	価格ダウン	-30
固定費減	+20	為替影響	-3
震災影響	+9	素材高騰他	-17
		物量減・他	-31
	+68		-81

営業外損益増減

為替差損益	+11	(-7→+4)
持分法投資損益	+3	(-3→+1)
金融収支	+2	(-4→-2)

特別損益増減

固定資産処分損	-2	(-1→-2)
投資有価証券評価損	-3	(0→-3)

(単位:億円)

	売上高			営業損益		
	2010年度Q3	2011年度Q3	増減	2010年度Q3	2011年度Q3	増減
エネルギー	109	139	30	21	19	-1
産業システム	167	180	13	-7	1	8
社会システム	289	284	-5	-1	-5	-4
パワエレ機器	221	211	-10	11	-8	-19

▶ エネルギー

売上高は、発電プラント分野における新設プロジェクトの売上計上、および原子力・放射線分野における放射線量計の需要増等により上回る。営業損益は、増収効果はあったものの、為替の円高進行により前年同期並となる。

▶ 産業システム

売上高は、大口案件の増加等により前年同期を上回り、営業損益は、増収効果、原価低減および経費圧縮により前年同期を上回る。

▶ 社会システム

コンビニエンスストア向け改装物件の増加はあったものの、社会情報分野における顧客のIT投資の抑制影響等により、売上高、営業損益ともに前年同期を下回る。

▶ パワエレ機器

ドライブ分野の売上高は、中国市場の減速影響等により前年同期を下回り、営業損益は、為替の円高進行および中国における生産調整等の影響により前年同期を下回る。

(単位:億円)

	売上高			営業損益		
	2010年度Q3	2011年度Q3	増減	2010年度Q3	2011年度Q3	増減
電子デバイス	310	257	-53	-13	1	14
内、ディスク媒体	105	58	-47	-26	1	27
器具	165	166	1	10	5	-6
自販機	206	192	-15	5	2	-2
その他	270	258	-12	3	3	1
消去または全社	-147	-134	13	-11	-14	-4
合計(①+②)	1,590	1,552	-38	17	5	-13

▶電子デバイス

【パワー半導体】売上高は、産業分野、電源分野の不振を自動車分野の好調でカバーし切れず、前年同期を下回る。営業損益は、為替の円高進行、先行投資に伴う固定費増により、前年同期を下回る。

【ディスク媒体】売上高は、パソコン市場の減速およびタイ洪水影響による需要減により前年同期を下回る。営業損益は、事業構造改革による原価低減および固定費の削減により前年同期を上回る。

▶器具

売上高は前年同期並となる一方、営業損益は、素材高騰の影響により前年同期を下回る。

▶自販機

省エネ環境対応型自販機の需要は堅調に推移したものの、市場価格の下落等により売上高、営業損益ともに前年同期を下回る。

2011年度第3四半期末 連結貸借対照表

(単位:億円)

資産の部	11/3/31	11/12/31	増減
現金及び預金	819	312	-507
売上債権	1,974	1,556	-418
棚卸資産	1,095	1,644	550
その他	543	595	52
流動資産 計	4,430	4,108	-323
有形固定資産	1,659	1,554	-105
無形固定資産	101	97	-4
投資その他の資産	1,866	1,636	-230
固定資産 計	3,627	3,287	-340
繰延資産	1	1	0
資産 合計	8,058	7,396	-662

負債、純資産の部	11/3/31	11/12/31	増減
買入債務	1,347	1,181	-166
金融債務	2,740	2,485	-255
その他負債	2,222	2,164	-57
負債 合計	6,309	5,830	-478
資本金	476	476	-
資本剰余金	467	467	-0
利益剰余金	544	457	-87
自己株式	-71	-71	-0
株主資本	1,416	1,329	-87
その他の包括利益累計額	138	38	-100
少数株主持分	196	199	3
純資産 合計	1,749	1,566	-184
負債・純資産 合計	8,058	7,396	-662
自己資本比率(%)	19.3	18.5	-0.8
ネットD/Eレシオ(倍)	1.2	1.6	+0.4

2011年度通期業績予想

2011年度通期予想 連結業績概要

(単位:億円)

	2010年度	2011年度		増減	
	実績	予想 (11/10/27)	予想 (12/1/25)	対前回 予想	対前年
売上高	6,891	7,200	7,000	-200	109
営業損益	119	220	150	-70	31
経常損益	72	200	130	-70	58
当期純損益	151	120	70	-50	-81
平均為替レート US\$	¥ 85.72	¥ 78.41	¥ 78.51	¥ 0.1	-¥ 7.21
平均為替レート EURO	¥ 113.12	¥ 109.40	¥ 107.98	-¥ 1.42	-¥ 5.14

第4四半期の前提為替レート

	US\$	EURO
前提為替レート	¥ 77.00	¥ 100.00
1円影響*(億円)	0.9	0.2

【参考】 *営業損益ベース

前回の前提為替レート	¥ 77.00	¥ 105.00
------------	---------	----------

2011年度通期予想 セグメント別売上高・営業損益(対予想)

(単位:億円)

	売上高			営業損益		
	予想 (11/10/27)	予想 (12/1/25)	増減	予想 (11/10/27)	予想 (12/1/25)	増減
エネルギー	656	656	0	81	81	0
産業システム	825	825	0	30	30	0
社会システム	1,417	1,400	-17	54	45	-9
パワエレ機器	962	895	-67	33	-10	-43
電子デバイス	1,181	1,120	-61	7	-10	-17
内、ディスク媒体	280	274	-7	-3	-2	1
器具	686	686	0	34	34	0
自販機	815	815	0	19	19	0
その他	1,159	1,140	-19	23	22	-1
消去または全社	-501	-537	-36	-61	-61	0
合計	7,200	7,000	-200	220	150	-70

▶ **社会システム**

復興需要の延伸等により売上高、営業損益ともに前回予想値を下回る見通し。

▶ **パワエレ機器**

ドライブ分野における中国向け売上高の減少、在庫調整による生産高減少により、売上高、営業損益ともに前回予想値を下回る見通し。

▶ **電子デバイス**

半導体分野における産業分野向けを中心とした売上高の減少、在庫調整による生産高減少により、売上高、営業損益ともに前回予想値を下回る見通し。

2011年度通期予想 セグメント別売上高・営業損益(対前年)

(単位:億円)

	売上高			営業損益		
	2010年度 実績(参考)	2011年度 予想(1/25)	増減	2010年度 実績(参考)	2011年度 予想(1/25)	増減
エネルギー	495	656	161	56	81	26
産業システム	816	825	9	16	30	14
社会システム	1,342	1,400	58	28	45	17
パワエレ機器	881	895	14	22	-10	-32
電子デバイス	1,259	1,120	-139	-20	-10	10
内、ディスク媒体	404	274	-130	-52	-2	49
器具	655	686	32	29	34	5
自販機	858	815	-42	4	19	15
その他	1,159	1,140	-19	21	22	1
消去または全社	-574	-537	37	-34	-61	-26
合計	6,891	7,000	109	119	150	31

1. 本資料は法律に基づく監査手続の対象外であり、本説明会の時点において、法律に基づく財務諸表の監査手続は終了していません。
2. 本資料および本説明会に含まれる予想値および将来の見通しに関する記述・言明は、弊社が現在入手可能な情報による判断および仮定に基づいております。その判断や仮定に内在する不確実性および事業運営や内外の状況変化により、実際に生じる結果が予測内容とは実質的に異なる可能性があり、弊社は、将来予測に関するいかなる内容についても、その確実性を保証するものではありません。
3. 本資料は、情報の提供を目的とするものであり、弊社の株式の売買を勧誘するものではありません。
4. 目的を問わず、本資料を無断で引用または複製することを禁じます。